

郡山市水道事業経営戦略

策定の背景

総務省通知：経営戦略の策定について「経済・財政再生計画」の「集中改革期間」である平成28年度から30年度までの間に集中的に推進
 ⇒本市水道事業も集中改革期間中の平成30年度に策定を行う
 ※郡山市上下水道事業経営審議会で本年度審議を行った。

○策定の趣旨

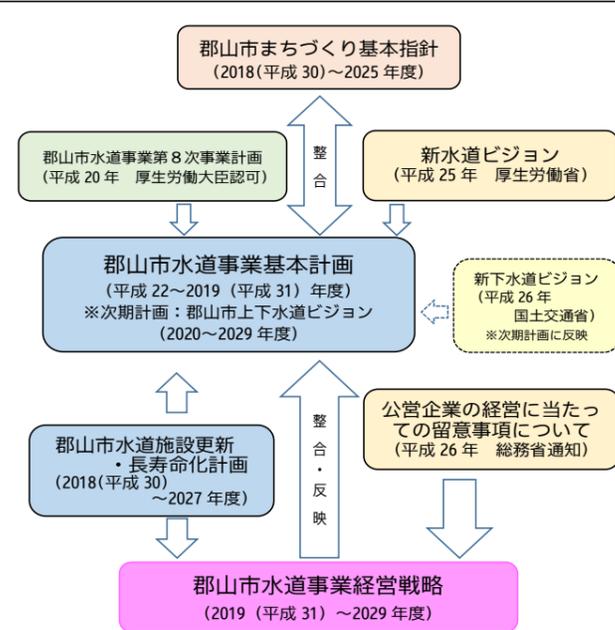
市民に安全安心な水道水を持続的かつ安定的に供給していくため水道事業の効率化及び健全化に取り組む指針として策定

○経営戦略の位置付け

- (1)水道事業基本計画の経営に関する施策
- (2)総務省から策定を求められている施策

○計画期間

2019（平成31）年度から2029年度まで（11年間）
 ※次期基本計画の計画期間（2029年度）と整合を図る。



経営の基本方針

「経営の健全化による持続可能な事業推進」

中長期的な視点から経営戦略を策定し、これに基づく計画的な管路・施設の更新、効率的な維持管理及び経営の効率化などに取り組み、更なる経営基盤の強化を図る。



誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりの実現のための目標「SDGs」を推進。

効率化・経営健全化の取組み

事業運営にかかる経常的なコストを削減し経営基盤の強化を図るとともに、計画的効率的な更新などにより投資の合理化を進める。また、災害や事故等に備えた危機管理体制の強化も重要となる。

- ～経営基盤の強化～
 - 組織の活性化と人材の育成
 - 資産の有効活用(アセットマネジメント)
 - 営業外収益の確保 等
- ～投資の合理化～
 - 計画的な投資と長寿命化
 - 民間の資金・ノウハウの活用
 - 新技術の活用
- ～危機管理体制の強化～
 - 危機管理等の体制整備
 - 施設の耐震化・長寿命化
 - 安定給水体制の確保
 - 基幹管路の耐震化推進
- ～経費削減に向けた事項～
 - 水道事業の計画の見直し
 - ライフサイクルコストの最小化
 - ICT、IoT等を活用した効率的な維持管理 等
- ～「見える化」に関する事項～
 - 情報公開及び意見の利活用
 - 市民協働による事業運営

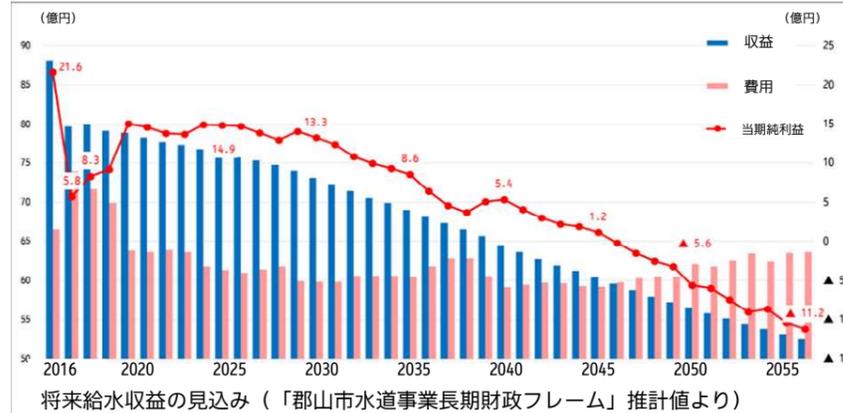
【徹底した効率化・経営健全化に取り組む】

現状と課題

- 【現状】○水道施設の整備が進み2017（平成29）年度で水道普及率96.0%
 ○施設の統廃合や組織統合、民間委託の実施などによる経営の効率化を推進
- 【課題】人口減少に伴う給水収益の減少が見込まれる中、今後は、老朽化の進行・更新時期の到来による事業費の増加や増加する事業の実施にあたり人員確保や技術の継承等が必要
 ⇒ 更に徹底した事業の効率化及び経営の健全化に取り組む必要がある。



※全国平均出典：「水道統計」（公益社団法人日本水道協会発行）
 ※管路経年化率：法定耐用年数（40年）を経過した管路延長/管路総延長×100



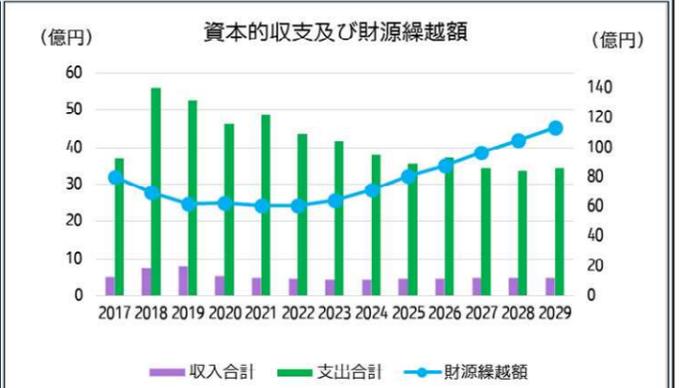
【経営健全化の主な取組状況】

- ・浄水場の統廃合
 豊田浄水場を廃止し、その機能を堀口浄水場へ統合
- ・組織の効率化
 水道局と下水道部を「上下水道局」として組織統合
- ・包括委託等の官民連携の推進
 料金窓口業務を中心とした包括業務委託の実施、浄水場管理業務委託の実施

投資・財政計画

- 【投資事業】郡山市施設更新・長寿命化計画に基づく管路の更新、施設の更新・修繕を実施
 西田町高野地区、三町目上地区における未給水地区の解消事業
 第8次事業計画に係る事業推進
- 【財源確保】水道料金の見直しの必要性検討、企業債残高の抑制 等

経営戦略に基づく事業実施により、健全な経営を確保



経営戦略の進捗管理

毎年評価検証を行うため、経営戦略を水道事業基本計画実施計画及び財政計画策定時に反映させ、現時点で把握できていない詳細項目についても精度を高めていく。

